

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月31日（16:30～17:30）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	4	1			5

前回の改善計画	丁寧で細やかな声かけを心がけ、相手の表情や声のトーンに変化がないか話をゆっくり聞き、利用者本人と家族の不安な気持ちに寄り添う。そして、少しでも気持ちが和らぐように支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の不安な気持ちを汲み取り、通い利用の無理強いをせず、訪問対応や短時間利用など、本人に合わせた支援を提供した。意図的にゆっくりとした話し方や親しみやすい口調、態度で接して、不安な気持ちに寄り添えるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	1			5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		5			5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4	1			5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		5			5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初回面談や契約時に管理者が得た情報を書面にまとめて事前に回覧、口頭でも情報共有している。サービスに慣れていない本人や家族には、まずは「訪問」から利用してもらったり、「通い」を短時間利用にしたりするなどして対応している。利用開始時は特に、本人の様子を見ながら柔軟な対応をして、他の利用者との間に職員が入り会話がしやすいようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
高齢者世帯（主介護者が配偶者）が半数を超えているため、家族が認知症の理解や進行状況に対応できていないことが多い。戸惑いや不安な気持ちを抱えているとき、その気持ちに寄り添う配慮が十分でないときがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
丁寧で細やかな声かけを心がけ、相手の表情や声のトーンに変化がないか話をゆっくり聞き、利用者本人と家族の不安な気持ちに寄り添う。そして、少しでも気持ちが和らぐように支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日 (16:30 ~ 17:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5			5

前回の改善計画	決定した目標達成計画書の内容を共有し、各利用者の目標を把握する。そして、目標に向けて、体操やレクリエーション、家事活動を行う際、「なぜ、何のためにやるのか」を伝えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月事業所会議で次期目標達成計画書について話し合い、計画書をいつでも閲覧できるようにすることで内容を共有し、本人の「～したい」が実現できるよう、統一した支援を行うことができた。

◆今回の評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	2			5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5				5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5				5
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	1	1		5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日常的にケアプランや目標達成計画書の目標に向けた声かけ、関わりを行っている。体操やレクリエーション、家事活動等を行う際、「なぜ、何のためにやるのか」を伝えるようにしている。そして、上手くいった関わりや、逆に上手くいかなかった関わり等、会議等で報告、相談、共有をして、次に活かせるように努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプラン、目標達成計画書を全職員が閲覧できるようにしている。しかし、目を通すだけで、ケアプラン等の内容をしっかり理解できていない職員もいた。本人の目標実現を目ざした関わりを心がけているが、本人に伝わらない、理解できない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアプランや目標達成計画書の内容を共有・理解し、各利用者の目標を把握する。そして、目標に向けて、体操やレクリエーション、家事活動を行う際、「なぜ、何のためにやるのか」を伝えるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日 (16:30 ~ 17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5			5

前回の改善計画	事業所が使用しているアセスメント「センター方式 B-3 (私の暮らし方シート)」の内容を充実させる。聞き取った内容は記録に残していく。そして、以前の暮らし方を理解し、共有をして、より良い支援に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者との何気ない会話の中から、「センター方式 (私の暮らし方シート)」の内容をくみ取るよう努めた。以前の暮らし方を理解して、利用者との会話や、余暇活動に活かすことができた。昨年とは違い、記録に残すこともでき、他職員と共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	2			5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	1			5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5			5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	1			5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	1			5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者の今の状態、状況に合わせた支援ができている。事業所会議毎に全利用者について話し合い、情報を共有して、その人の「いまの状態、状況に合わせた支援方法」を検討している。決定した支援内容は全職員が統一して行えるよう努めている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自宅での様子を本人と家族に聞くが、内容が違うことがあるため、自宅での様子を正確に把握できないときがある。職員の勤務体制の違いから、事業所会議以外に、対策などを話し合う機会が少なかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事業所が使用しているアセスメント「センター方式 B-3 (私の暮らし方シート)」の内容を充実させる。聞き取った内容は記録に残していく。そして、以前の暮らし方を理解し、共有をして、より良い支援に繋げていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日 (16:30 ~ 17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	2			5

前回の改善計画	家族から送迎等の際に、積極的に本人の日常生活の様子を聞き、情報を収集する。地域との関わりも積極的に聞き、地域との関係が途切れないように、提案や支援に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎やサービス担当者会議のときに、積極的に家族と話し、自宅での様子や地域との関わりを聞くように努めた。友人と週一度のモーニングの時間を確保できるよう、サービス内容を調整した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	3			5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5			5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5			5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5			5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用時などに、家族や近所の方から聞いた話などは、記録に残して全職員で情報を共有している。地域住民の方々に助けをもらいながら生活をしている利用者もいるため、その方たちに会うことができたときには、本人の様子や情報を聞いて、把握するように努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
同居家族がいる場合は、日常生活の様子を家族から聞くようにしている。しかし、独居や高齢者世帯の場合は別居家族も日常生活を把握しておらず、また、本人に聞いても曖昧で把握しきれていない場合が多い。新規利用者の地域との関わりも把握ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族から送迎等の際に、積極的に本人の日常生活の様子を聞き、情報を収集する。地域との関わりも積極的に聞き、地域との関係が途切れないように、提案や支援に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日（ 16:30 ～ 17:30 ）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		5			5

前回の改善計画	自宅での「変化」に気づいたときも、様子や発言などを細かく記録に残し、全職員で共有していく。また、自宅で過ごしているときの本人の様子をできる限り把握できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	自宅に伺った際には、本人だけではなく自宅内の様子（食べ物や薬、衣類、物品の位置や状態等）を観察し、変わった様子があれば職員間で情報共有して、必要時は家族に伝えるようにしている。様子の把握には努めていたが、細かく記録に残すことができない職員もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		5			5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5				5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	4	1			5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5				5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>独居や高齢者世帯の方たちには、利用できる市のサービス等を紹介している。また、近隣の友人や知人が支援している場合は、関係を継続できるよう配慮している。本人や家族の利用希望には可能な限り応じることができるように努めているが、難しい場合には、代替案を提示するようにしている。主介護者がケガで一定期間介護が困難になったときには、追加で毎日「通い」を利用して家族の介護負担を軽減することができた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>「通い」での様子などは、細かく記録に残し共有できている。しかし、「訪問」時の様子は、「訪問」内容（服薬した、血圧を測ったなど）の記入のみが多く、その時の状態や発した言葉などが記入されていないことがあり、自宅での「変化」を把握できていないことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>新規の利用者は独居の方が多くなっているため、訪問時の「変化」に気づいたときには様子や発言などを細かく記録に残し、自宅で過ごしているときの本人の状態をできる限り把握・共有できるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日 (16:30 ~ 17:30)

6. 連携・協働

メンバー 鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	2			5

前回の改善計画	地域事業や行事に少しずつではあるが参加できるようになってきている。引き続き、事業所にも気軽に立ち寄れるように、環境作りやアピールをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の行事には参加することができた。知立市からの委託事業「ひまわり（認知症）カフェ」を毎月開催し、地域の方たちが事業所に立ち寄る機会が増えた。事業所前を通る方達に行事の看板が見えるように掲示したり、回覧板にチラシを入れてもらったりし、「看板、チラシを見て来ました」という声も聞けるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	1		5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？				5	5
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	2			5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5			5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス担当者会議に訪問看護や福祉用具の事業所等にも参加してもらっている。出席できないときには、照会用紙で現在の本人の状況やサービスに対する意見を聞き、支援に繋げている。また、定期のサービス担当者会議以外にも、必要時には他機関との話し合いや相談の場を設けている。知立市からの委託事業である「ひまわり（認知症）カフェ」を毎月開催して、地域の方たちにも参加してもらい、少しずつ交流を増やしていくことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方たちが野菜を届けてくれたり、ウォーキングや犬の散歩等で通りかかる時に挨拶をしたりすることは多いが、認知症カフェを開催していても事業所内まで入ってきてくれる方はまだまだ少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域事業や行事に少しずつではあるが参加できるようになってきている。引き続き、事業所にも気軽に立ち寄れるように、環境作りやアピールをしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日 (16:30 ~ 17:30)

7. 運営

メンバー 鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	2			5

前回の改善計画	福祉避難所という自覚を持ち、災害時に備えて、各職員が備品や備蓄物資等の種類や数量、保管場所等の確認を行い、定期的に災害時の行動訓練も行なっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	災害時に備えて、職員全員が適切に行動できるように、定期的に災害時訓練を行っている。備蓄物資等の種類や数量、保管場所を確認することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	1			5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5				5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5				5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	1			5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族や地域の方から意見や苦情があったときは、「苦情・要望・相談報告書」に記入し、全職員が閲覧して内容を共有している。知立市から「ひまわり（認知症）カフェ」の委託を受け、毎月開催している。また、地域包括支援センターから依頼を受け、知立市図書館で開催した「アルツハイマー月間」のイベントに協力した。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること BCP（災害時の業務継続計画）が職員に浸透しているとは言い難く、地域に必要とされる拠点として、遠からず起こるであろう地震災害（南海トラフ地震）への備えが不十分である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 福祉避難所という自覚を持ち、災害時に備えて、各職員が備品や備蓄物資等の種類や数量、保管場所等の確認を行い、定期的に災害時の行動訓練も行なっていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日 (16:30 ~ 17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		5			5

前回の改善計画	引き続き、オンライン研修で、事業所内で活用できそうな内容について勉強する。その内容を会議で共有し、よりよい支援ができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所会議で発表することは少なかったが、毎月のオンライン研修で様々な情報を知ることができた。活用できる内容は、普段の支援の中で取り入れていけるように口頭で共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5				5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4	1		5
③	地域連絡会に参加していますか				5	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5				5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月、全体会議の中で、内部研修を実施したり、オンライン研修を各職員月1回以上受講したりしている。毎月、リスクマネジメント委員会で、提出されたヒヤリハット報告書や事故報告書を集計・分析し、全体会議で共有している。月2回の事業所会議でも、提出された報告書の内容について、必要に応じて対策を検討し実施している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部研修へはほとんど参加していなかった。オンライン研修を各職員で受講していたが、事業所会議の中で発表することは少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今事業所の職員に必要であろう知識や活用できそうな内容のオンライン研修を行う。その内容を会議で発表、共有して、よりよい支援ができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日 (16:30 ~ 17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 鈴木 大山 板倉 加藤 松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	3			5

前回の改善計画	利用者の状態やその場、その時の状況に合わせて、適切な言葉遣いを意識して支援する。職員間でもお互いの言葉遣いを意識し、必要時はきちんと注意をし合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	相手を尊重した話し方を心がけ利用者と接していた。職員の不適切な言葉に対して、職員同士で注意をし合うことができた。日常的には丁寧な言葉遣いを意識して支援をすることができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5				5
②	虐待は行われていない	5				5
③	プライバシーが守られている	5				5
④	必要な方に成年後見制度を活用している		4		1	5
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5				5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束廃止や虐待防止、プライバシー保護、成年後見制度の研修を毎年繰り返し行っている。リスクマネジメント委員会で、身体拘束や虐待に繋がるような不適切ケアが発生していないか、毎月話し合っている。利用者の尊厳を大切に「ですます調での話し方」や「依頼形での声かけ」について話し合い、日々の業務で実践できるように努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者との会話で話しが盛り上がりすぎたり、難聴の方に伝わらないときなど、声が大きくなってしまったり、気のゆるみが出たりすると、ですます調や依頼形での声かけの徹底ができていないときがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の状態やその場、その時の状況に合わせて、適切な言葉遣いを意識して支援する。職員間でもお互いの言葉遣いを意識し、必要時はきちんと注意をし合う。	